

交通安全啓発の午後

交通安全の腹話術



挨拶をする深谷会長



市民とのふれあい二題

自転車はマナーとルールを

大府コミュニティ推進協議会交通安全防犯部会主催による「交通安全啓発の午後」が二月九日大府公民館で開かれ、交通安全を呼びかけた。激しく降る雪の中を多数が参加した。深谷同協議会会長や鷹羽大府自治区長は「高齢者たちの交通事故が増えています。きをつけて、みなさんが安心、安全な街づくりに努めて下さい」とあいさつをした。あと、三浦東海警察署大府幹部交番所長が講演をし、「自転車と歩行者の事故が増えています。自転車は許可されている歩道は通れるが一般的には車道の左側を走るようにして下さい」と呼びかけていた。東海警察署管内では昨年車と自転車の事故が二百五十九件あった。自転車に乗る人はマナーとルールを守ってほしいとうたったていた。また交通安全映画や腹話術のあと、「ハンド・アップ作戦」宣言文を、全員で読みあげ、交通安全宣言を行った。最後に反射テープやウサギのマスコットなどが配られた。

ふれあい

大府コミュニティだより

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
調査広報部会
事務局

大府公民館
TEL48-1007

助けあう

家庭と地域を

創造しよう

大府保育園児の歌



芸能祭

大府公民館芸能祭



桃山保育園児の歌

大府ばやし小唄保存会の大府小唄



ハーモニオの木のハーモニカ演奏



第26回大府公民館芸能祭が2月24日大府公民館で行われた。今年は50演目二六九人が出演、歌や日本舞踊など、日頃の成果を披露した。

大府公民館芸能祭



ひじり詩舞の詩吟

大府公民館芸能祭



おもと会の唄と三味線

平成20年度

大府コミュニティ総会

4月20日(日)

午後7時より

大府公民館大会議室

——お知らせ——

20年度コミュニティ運動会は11月に変更する予定です。

今、大府中学校は

開かれた学校として
地域の方々がお
助け隊として協力
しています。

私が学校へ伺っ
た時、子ども側から

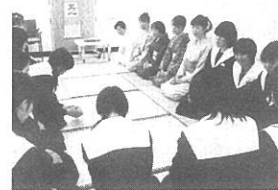
「おはよう!!おはようございます!!」
と挨拶がありびっくりしました。私
でも「茶道」の一部を身をもってさりげ
なく伝えることが出来るかな…。と思
い引きつけることにしました。

茶道と云えば姿勢をよくして着席し、
両ひざの間隔は握りこぶしを一つぐら
いあけてすわる。と授業すれば当たり
前なのですが、私は「お辞儀でストレッ
チ」という事で正座。お辞儀をする
と関節や筋肉を柔らかくするストレッチ
効果があります。これは中京大の先生
の受けうりですが私はその通りと思
いに講義の中にとり入れています。「ス
トレッチの時間をとらなくても日本伝
統のお辞儀をすれば大丈夫ですよ。」と
楽しいひとときを過ごしています。

茶道講座講師 角田春子



箏 素敵な音色がきこえていました。



大府お助け隊 大活躍

—大府中学校支援ボランティア—

大府中学校では、生徒が心豊かに成長していくためのよりよい環境づくりを目指しています。選択教科の時間に、地域の方々のもつ幅広い分野での知識や技術、力を生徒さんのために発揮してもらっています。これが「大府お助け隊」です。2年生週1時間、3年生週2時間、興味関心のある講座に参加して、地域の人とのふれあいをしながら楽しく学んでいます。

講座内容 茶道・箏・演劇・社交ダンス・菊作り・マジック・ニュースポーツ
・川柳・華道・詩吟・押し絵レース編みなど

社交ダンス
ドレスを着てい
る気分で
“Shall we
dance?”



菊作り (園芸)
こんなにみごと
に咲きました。



授業時間の減少にともない、小学校で学芸会を行わなくなりました。だから『演劇』の授業を選択して初めて舞台で演技を披露するという経験をした子どもたちがほとんどです。最初は恥ずかしかったけれど大きな声が出せるようになった「みんなで協力しないと作品が出来上がらないことを知った」そんな感想を多くの子どもたちが残してくれました。

また、『詩の創作と朗読』講座の中で、高校受験を控えた3年生に受験面接対策の講座も行いました。

人間は群れをなして生活する動物です。これから多くの人と交わって生きていくために、自己表現の原点として、『挨拶(心を開き)』『挨拶(歩み寄り)』の大切さをまずは知ってもらえれば、というのがこの講座の一番の目的です。

演劇講座講師 鳥井さほ里

大府中学校の正門をくぐると、自然豊かな並木道が続く、玄関には花がいっぱいで、我々を迎えてくれました。生徒達も元氣よく挨拶をしてくれました。我々のマジックの授業が始まると、廊下いっぱい生徒がこちらを見ていました。我々も頑張らなきゃ!生徒の眼差しは輝いていました。授業は毎回新しいものを取り入れています。カードマジック、ロープマジック、不思議な新聞等を学んでもらい、実際に生徒達が覚えられたかどうか、発表させて指導しています。

プロのマジシャンの演技を見せた時、彼らの眼差しは驚きの光を放っていました。プロでも同じことを何千回と繰り返して技に到達するそうです。大人と中学生が、同じ趣味を持つ仲間として、生徒とふれあえた事は幸運でした。この選択授業を担当して、生徒に教える難しさを知り、自分もさらに勉強しなければと痛感しました。三年生にとっては大事な時期ですが、学生時代にいろいろ体験したことは、人生において、きっといい思い出になることでしょう。

マジック講座
大府マジック
クラブ



健康都市づくりに貢献

平成19年6月から始まった大府コミュニティ緑花推進事業も順調に進み今年3月31日で完了する。

緑花推進モデル事業完了



期間中、通行人、公衆電話料金回収員や近くの人達が花壇のゴミを拾ったり雑草を取ったりする姿も見られた。大府駅前と西側、それに大府保育園、大府図書館前道路周辺、大府小学校、大府公民館などに大型プランタを置き、花の苗を植えたり、街路樹の整備、樹木の植え替えなどを行うなどし、緑と花で飾り綺麗な街づくりや住民の快適な生活環境に一役買い健康都市づくりにも貢献した。

同事業は大府コミュニティ環境部会が中心になって計画をたて、土作り、種まき、花の植え替え、水やりなどの作業内容を決め、各部会員や団体、一



花推進活動

般市民の協力で進めていった。主な作業内容として、一回目は9月17日に大府駅前でキックオフして本格的に活動を始め第一歩を踏み出した。この日は同駅前と西側で腐葉土などを入れた大型プランタに日草、ケイトなど九種類の花を植えたほか同西側の花壇の整備も行なった。参加者は51名。二回目は10月14日、月見町地内にあるJAあいち知多農協「しまた農園ビニールハウス」で種まきや大府保育園、旧児童センター前などでそれぞれ花植をした。参加者は43名。三回目は11月



14日、同ビニールハウスの貼り直し作業、同18日には桃山町五丁目信号から大府図書館までの県道沿いの土作りと雑木の根の撤去をしたあとハナミズキ、ツツジ、トキワマンサクを植えたり駅階段下の花壇作りを行う。参加者は21名。四回目は12月2日に大府駅階段下花壇に芝生や花を植えたり大府図書館前の植樹を行った。参加者は25名。



大府コミュニティは、青少年健全育成のつどいの一環として「家庭でグラウンドゴルフをしてプロマジシャンの演技を見よう」という会を大府小学校で開いた。

○……グラウンドゴルフ

写真上Ⅱでは子供や家族らの混成チームでゲームを競った。ボールをうつたび「いいところへ行ったぞ」と声を掛け、

グラウンドゴルフと手品楽しむ

最初にトランプやシルクを使った演技を披露したあと観客からコミの加古副会長が舞台に上がり、ロープによる手品のアシスタントを努めた。ロープの中央をハサミで何回

切っても長さが違い、小学生たちは不思議そうに熱心に見とれていた。



○……手品Ⅱ写真下Ⅱのブログがやってきた。世界的に知られるパピヨン大西さんが同校体育館に集った観衆の前で、

あの人この人

鈴木林蔵さん (中央町)

65号66号に続き、今回も校長先生に登場していただきます。校長は校長でも、NHK「中学生日記」日比野校長こと、俳優の鈴木林蔵さんです。

らっしゃいます。

お父様の船の名前のついた劇団「神勢丸」での活動。また、幅広い人脈を活かした「芸術を楽しむ会」の開催など、ほんとうに多忙な日々をすごされています。しかしそんな中で、思いがけず、熱田神社の朝市でおみかけすることもあります。聞き覚えのある「じゃがいも」という低音のひとこえにドキッ♡

「悔いのない人生ですね。」とお聞きすると、「まだまだやりたい事の三分の一もやってません。」とのこと。英国演劇の本場エディンバラでシェークスピアの好きな役を演じたというこれからの夢についても、熱く語ってくださいました。

奥様が切り盛りされている大府駅前、のじゃがいもとサンドイッチの店「ふらんす屋・蔵。おいしいコーヒーと素敵なお話をたっぷりご馳走になりました。」(いきいきタウン 大森 薫)



大府あれこれ

大倉公園

ナンジャモンジャ



大府市の名所として知られる大倉公園で、四月下旬から五月上旬にかけて咲くナンジャモンジャの通称で知られるヒトツバタゴの木がある。国内の自生地では長崎対馬北端、愛知県の一部岐阜県の本曾川周辺だけに分布している。この貴重なヒトツバタゴの木が四本植えられている。公園を訪れる人たちは、こんな貴重な木があるとはあまり知られていない。花が咲いている期間が短いから気付かないのかもしれない。

純白の繊細な花びらが無数に開いた様子は緑の葉の上に綿雪が降り積もったよう。周りの新緑に囲まれるなか季節外れの雪化粧をしたような姿の取り合わせに訪れた人たちが「何、これ?」と不思議そうな顔をし、足を止めて見上げている。

ツツジに囲まれて植えられている高さ三〜四メートルの大小合わせて四本ある。名前の由来には諸説があるが、江戸時代の人が「これはなんじゃ、なんの木じゃ」と言ったところから俗名がついたという。モクセイ科の落葉樹高木。最近では街路樹などとしてひろまっている。新池の県道沿いにも一本植えられている。

あとがき

JR大府駅南側に昔、踏切があった。その脇に今もイチヨウの樹木があり、秋になると黄色く色づきとてもきれいだ。

子供のころ踏切を通るたびに見ていた。樹齢百年以上になると聞いたことがある。昨年久しぶりに見に行ったら日差しを受け黄金色に染まった大イチヨウが深まる秋に彩りを添えていた。

大木の根元にひらひらと舞い落ちる葉が黄色いじゅうたんを敷いたようになる光景がわすれられない。近くのお年寄りが落ち葉を掃除していた。葉を散らす風は冬の訪れを告げていた。(F)

